

5. 競争的研究資金獲得状況

○放射線リスク制御部門 放射線分子疫学研究分野

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
サエンコ ウラジミール・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) Establishment of a synthetic promoter-based system for sensing oncogenic alteration in human live thyroid cells at a single-cell level
サエンコ ウラジミール・准教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 放射線誘発小児甲状腺がんの分子疫学的研究

○放射線リスク制御部門 国際保健医療福祉学研究分野

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
高村 昇・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究 (B) 「福島の後を見据えたチェルノブイリにおける疫学研究の展開」
高村 昇・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) 「福島県川内村におけるキノコ・山菜マップの作成:復興再生に向けたモデルケースの構築」
高村 昇・教授	環境省	代表	「富岡町を基盤とした帰還住民とのコミュニケーションに資する科学的エビデンスの創出」
折田真紀子・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 (B) 「福島県川内村における食材中の放射性物質濃度のデータベース化と住民のリスク認知評価」

○放射線リスク制御部門 放射線災害医療学研究分野

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
山下俊一・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) 甲状腺発がん予後決定分子機構の解明
山下俊一・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(A)海外 国際共同研究による甲状腺がん分子疫学調査研究
山下俊一・教授	厚生労働省	代表	地球規模保健課題解決推進のための行政施策に関する研究事業 「国際保健政策人材増強のための国内環境整備施策に関する研究」
鈴木啓司・准教授	環境省	代表	原子力災害影響調査等事業『放射線の健康影響に係わる研究調査事業』 小児期の生活習慣等の低線量放射線発がんリスクに及ぼす影響とメカニズム解明
鈴木啓司・准教授	日本学術振興会	代表	挑戦的萌芽研究 甲状腺初期化細胞を用いた放射線誘発ゲノム融合分子痕跡検出系樹立の試み

鈴木啓司・准教授	文部科学省	分担	戦略的原子力共同研究プログラム 幹細胞のキネティクスから発がんの線量率効果を紐解く
光武範吏・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) チェルノブイリ小児甲状腺がんにおけるDNA修復関連遺伝子群の分子遺伝疫学研究
光武範吏・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(B)海外 チェルノブイリ周辺国における非放射線誘発小児・若年者甲状腺がんの分子疫学調査研究
光武範吏・准教授	日本学術振興会	代表	挑戦的萌芽研究 循環乳癌細胞を用いたDNA修復能測定系の樹立：PARP阻害剤適応決定へのカギ
光武範吏・准教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(A) DNA修復・損傷応答機構の異常により発症するゲノム不安定性疾患の分子病態解明研究
光武範吏・准教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(A)海外 ゲノム不安定性を誘発する先天性希少疾患と小児がんコホートの分子遺伝疫学調査
光武範吏・准教授	日本医療研究開発機構	分担	ゲノム不安定性を示す難治性遺伝性疾患群の症例収集とゲノム・分子機能解析による病態解明研究
光武範吏・准教授	日本医療研究開発機構	分担	甲状腺未分化癌の標準的治療法の開発に向けた全国的組織を用いた医師主導臨床試験の企画
松瀬美智子・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) TERTは甲状腺癌の予後推測・治療方針決定のマーカーとなりうるか？

○放射線リスク制御部門 放射線生物・防護学研究分野

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
松田尚樹・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究 (B) ロバスト性の高い放射線科学文化の創造 - 放射線ラーニングの新展開 -
山内基弘・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) CRISPR/Cas9 を用いた癌関連融合遺伝子の生成・生成抑制機構の解明
松田尚樹・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究 (B) 看護基礎教育における放射線教育パッケージの製作および教育支援システムの開発
松田尚樹・教授	厚生労働省	分担	労災疾病臨床研究事業費補助金 放射線教育プログラムによる放射線業務従事者の知識向上と不安低下度の定量的解析
松田尚樹・教授	原子力規制庁	代表	原子力規制人材育成事業 大学等放射線施設による緊急モニタリングプラットフォーム構築のための教育研究プログラム

松田尚樹・教授	文部科学省		課題解決型高度医療人材養成プログラム 放射線健康リスク科学人材養成プログラム
---------	-------	--	---

○細胞機能解析部門 幹細胞生物学研究分野

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
李 桃生・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究（B） 放射線被ばくによる組織幹細胞への影響と非がんリスク評価
李 桃生・教授	日本学術振興会	代表	挑戦的萌芽研究 心臓再生ニッチの探索と構築
李 桃生・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究（A） ゲノム不安定性を誘発する先天性稀少疾患と小児がんコホートの分子遺伝疫学調査
李 桃生・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究（B） 下肢虚血性潰瘍に対する低酸素刺激を加えた細胞シートによる治療法の開発
後藤信治・助教	日本学術振興会	代表	挑戦的萌芽研究 がん幹細胞の代謝特性を標的とした新規がん治療法の開発
川端 剛・助教	日本学術振興会	代表	挑戦的萌芽研究 次世代 <i>In vivo</i> オートファジー測定系開発とその応用
川端 剛・助教	日本学術振興会	代表	若手研究（A） 複製ストレス応答とオートファジーの融合による新領域開拓

○細胞機能解析部門 分子医学研究分野

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
永山雄二・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 甲状腺自己免疫の研究：マウスにおける抗TSH受容体免疫反応と免疫寛容
蔵重智美・助教	日本学術振興会	代表	若手研究(B) 甲状腺における放射線誘導性発癌モデル作成および抗酸化剤のDNA損傷抑制効果の解明

○ゲノム機能解析部門 人類遺伝学研究分野

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
吉浦孝一郎・教授	日本医療研究開発機構（AMED）	代表	難治性疾患実用化研究事業 ヒストン修飾酵素異常にともなうDNAメチル化異常の治療薬探索と簡易診断法の開発
吉浦孝一郎・教授	日本医療研究開発機構（AMED）	分担	医療技術実用化総合化事業 原因不明遺伝子関連疾患の全国横断的症例収集・バンキングと網羅的解析 （代表：水澤英洋）
吉浦孝一郎・教授	日本医療研究開発機構（AMED）	分担	臨床ゲノム情報統合データベース整備事業

			真に個別患者の診療に役立ち領域横断的に高い拡張性を有する変異・多型情報データベースの創成 (代表: 小崎健次郎)
吉浦孝一郎・教授	日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業 心臓突然死の発症リスク遺伝子の解明と層別化システムの構築 (代表: 蒔田直昌)
吉浦孝一郎・教授	日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	難治性疾患実用化研究事業 家族性地中海熱 (FMF) インフラマソームシグナル伝達異常をゲノム創薬で解決する開発研究 (代表: 川上 純)
吉浦孝一郎・教授	日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	難治性疾患実用化研究事業 中條-西村症候群様新規プロテアソーム関連自己炎症症候群の病態解明 (代表: 邊見弘明)
吉浦孝一郎・教授	日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	難治性疾患等政策研究事業 胎児発育不全で新規同定した遺伝子変異機能解析: エピゲノム脆弱性を背景とする新たな疾患概念の提唱と世界初のエピゲノム編集技術による治療法開発 (代表: 河合智子)
吉浦孝一郎・教授	日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	難治性疾患等政策研究事業 臨床データを元に下発作性運動誘発性舞蹈アテトーゼ (PKD) の発症機序の解明及び新規治療薬の開発 (代表: 黒滝直弘)
吉浦孝一郎・教授	厚生労働省	分担	難治性疾患等政策研究事業 先天異常症候群領域の指定難病等の QOL の向上を目指す包括的研究 (代表: 小崎健次郎)
吉浦孝一郎・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費補助金 (基盤研究(B)) 転写開始点マッピングによる分化特異的・時期特異的発現遺伝子の同定
吉浦孝一郎・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費補助金 (特設分野基盤研究(B)) ウイルスゲノムとヒトゲノムとの相互作用によるガン発症メカニズム解明
吉浦孝一郎・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費補助金 (基盤研究(B)) 原爆被爆者の腫瘍性/非腫瘍性造血細胞にみられるゲノム異常の包括的解析 (代表: 宮崎泰司)
吉浦孝一郎・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費補助金 (基盤研究(C)) ADHD 同胞多発家系のリスク遺伝子の同定と機能解析; 発達特性の多次元評価 (代表: 今村 明)
木下 晃・講師	日本学術振興会	代表	科学研究費補助金 (基盤研究(C)) 患者由来 iPS 細胞を用いた TGF シグナル異常骨系統疾患の治療法の開発
三嶋博之・助教	日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	臨床ゲノム情報統合データベース整備事業 真に個別患者の診療に役立ち領域横断的に高い拡張性を有する変異・多型情報データベースの創成 (代表: 小崎健次郎)

○ゲノム機能解析部門 ゲノム修復学研究分野

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
中沢由華・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) DNA二本鎖切断修復機構に関与する機能未知の小頭症新規責任因子の分子機能解析

中沢由華・助教	日本医療研究開発機構	分担	難治性疾患等克服研究事業 ゲノム不安定性疾患群を中心とした希少難治性疾患の次世代マルチオミクス診断拠点構築-荻班
中沢由華・助教	日本医療研究開発機構	分担	難治性疾患等克服研究事業 人工核酸・短鎖ペプチドを用いたゲノム不安定性疾患の新規治療薬開発-荻班
中沢由華・助教	長崎大学原爆後障害医療研究所	代表	原研内研究助成 次世代ゲノム解析とコピー数解析を併用した新規 DNA 修復関連遺伝子の探索

○原爆・ヒバクシャ医療部門 血液内科学研究分野

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
宮崎泰司・教授	厚生労働省	分担	厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等施策研究事業(難治性疾患政策研究事業)) 特発性造血障害に関する調査研究 (研究代表者:三谷絹子)
宮崎泰司・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(革新的がん医療実用化研究事業) AYA 世代急性リンパ性白血病の小児型治療法および遺伝子パネル診断による層別化治療に関する研究 (研究代表者:早川文彦)
宮崎泰司・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(革新的がん医療実用化研究事業) 骨髄異形成症候群 (MDS) のオミックス解析による治療反応性および病型進展の新たなバイオマーカーの同定とその実用化に関する研究 (研究代表者:小川誠司)
宮崎泰司・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(次世代がん医療創生研究事業) 大規模シーケンス解析に基づく、造血器腫瘍のゲノム、エピゲノムにおける、空間的・時間的多様性の研究 (研究代表者:小川誠司)
宮崎泰司・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(臨床ゲノム情報統合データベース整備事業) がん領域における臨床ゲノム情報データストレージの整備に関する研究 (研究代表者:堀部敬三)
宮崎泰司・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(革新的がん医療実用化研究事業) 成人慢性好中球減少症の診療ガイドライン作成に向けた予後追跡調査 (研究代表者:千葉 滋)
宮崎泰司・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(革新的がん医療実用化研究事業)急性骨髄性白血病における PDX モデルで意義づけられた分子層別化システムの確立と臨床的実効性と有用性の検証(研究代表者:清井 仁)
宮崎泰司・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(革新的がん医療実用化研究事業) TP53 遺伝子変異陽性骨髄異形成症候群に対する新規治療戦略 (研究代表者:南谷泰仁)
宮崎泰司・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(難治性疾患克服研究事業(難治性疾患等実用化研究事業) (難治性疾患実用化研究事業))

			ゲノム不安定性を示す難治性遺伝性疾患群の症例収集とゲノム・分子機能解析による病態解明 (研究代表者: 萩 朋男)
今泉芳孝・講師	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(革新的がん医療実用化研究事業) 臨床試験と全国患者実態把握による indolent ATL に対する標準治療の開発研究 (研究代表者: 塚崎邦弘)
今泉芳孝・講師	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(革新的がん医療実用化研究事業) NY-ESO-2 抗原特異的 TCR 遺伝子導入 T リンパ球輸注による同種移植後再発難治性成人 T 細胞白血病リンパ腫を対象とした多施設共同臨床第 I 相医師手動治験 (研究代表者: 池田裕明)
澤山 靖・助教	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(革新的がん医療実用化研究事業) 急性型およびリンパ腫型成人 T 細胞白血病に対する標準治療としての同種造血幹細胞移植法の確立 (研究代表者: 福田隆浩)
佐藤信也・助教	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)	分担	(次世代がん医療創生研究事業) 骨髄異形成症候群造血幹細胞移植症例におけるゲノム解析に基づいた革新的予後予測モデルの構築 (研究代表者: 吉里哲一)
宮崎泰司・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究 (B) 原爆被爆者の腫瘍性/非腫瘍性造血細胞にみられるゲノム異常の包括的解析
今泉芳孝・講師	日本学術振興会	分担	基盤研究 (B) ATLL 及び B 細胞性リンパ腫発症リスク評価・判定法の開発 (研究代表者: 齋藤益満)
今泉芳孝・講師	日本学術振興会	分担	基盤研究 (C) HTLV-1 キャリアクローン解析に基づく新規バイオマーカーの探索 (研究代表者: 長谷川寛雄)
糸永英弘・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 (B) DNA メチル化酵素の視点から治療関連白血病のマイクロ RNA の制御破綻を俯瞰する
宮崎泰司・教授	公益財団法人 武田化学振興財団	代表	特定研究助成 全ヒトゲノム配列で明らかにする放射線被ばくの時間的経過とその結果
糸永英弘・助教	第 34 回角尾学術賞	代表	受賞テーマ 骨髄性腫瘍の治療反応性に関与するゲノム・エピゲノム異常の解明

○原爆・ヒバクシャ医療部門 腫瘍・診断病理学研究分野

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
中島正洋・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(B) 福島の後を見据えたチェルノブイリにおける疫学研究の展開
中島正洋・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(B) 甲状腺発がん予後決定分子機構の解明

中島正洋・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 長崎原爆被爆者腫瘍バンクと網羅的分子病理学的解析研究
中島正洋・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 放射線誘発甲状腺発がんリスク亢進の刻印探索
中島正洋・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(A) 国際共同研究による甲状腺がん分子疫学調査研究
中島正洋・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 放射線誘発小児甲状腺がんの分子疫学的研究
中島正洋・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 甲状腺乳頭癌における新規リンパ節転移診断キットの開発
中島正洋・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) ゲノム不安定性が解き明かす非アルコール性脂肪性肝炎の発癌ポテンシャル
中島正洋・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) ラット甲状腺の放射線感受性と発がんにおけるオートファジーの影響
七條和子・助教	日本学術振興会	分担	基盤研究(A) カザフ核実験場周辺住民の放射性降下物被曝の実態解明—線量評価及び健康影響解析—
松田勝也・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 尿細胞診でのゲノム不安定性を指標とした低異型尿路上皮癌新規診断マーカーの開発
中島正洋・教授	武田科学振興財団	分担	特定研究助成金 全ヒトゲノム配列で明らかにする放射線被ばく影響の時間的経過とその結果

○原爆・ヒバクシャ医療部門 アイソトープ診断治療学研究分野

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
工藤 崇・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 医療経済効果に配慮した、高額医療機器を用いない高精度心臓核医学診断技法の開発
西 弘大・助教	日本学術振興会	分担	基盤 (B) 新規ジェネレータの特性に基づく多様な ⁶⁸ Ga 薬剤の一元的製造システムの構築
西 弘大・助教	日本学術振興会	分担	基盤 (B) マウスモデルを用いたウイルス感染病態の分子イメージングダイナミクス解析
西 弘大・助教	日本学術振興会	分担	基盤 (B) ロバスト性の高い放射線科学文化の創造 -放射線ラーニングの新展開

○共同研究推進部

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
林田直美・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究（C） 甲状腺良性所見の実態解明に向けた縦断的研究の展開
林田直美・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究（B） ロバスト性の高い放射線科学文化の創造 - 放射線ラーニング・コミュニケーションの新展開
林田直美・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究（C） 心拍間隔変動パワースペクトルによる術中自律神経状態解析 - 外科修練の最適化へ向けて

○資料収集保存・解析部 資料調査室(原研情報室)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
近藤久義・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 地理情報に基づく居住環境と生活習慣病との関連

○資料収集保存・解析部 生体材料保存室(原研試料室)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
近藤久義・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 地理情報に基づく居住環境と生活習慣病との関連
松山睦美・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) ラット甲状腺の放射線感受性と発がんにおけるオートファジーの影響